18. 肺門・縦隔リンパ節シンチグラフィー

牛尾　啓二　　松尾　導昌
大西　隆二　　末松　　徹
井上　善夫
（神戸大・放）
西山　章次　　高橋　龍二
（同・中放）

肺門・縦隔リンパ節への病変進展の有無を知る目的で，気管支鏡下に局注針を用いて，^{198}Au-colloid 30～50 μCi (量として，0.2～0.3 ml) を，粘膜・粘膜下に注入した．

コントロール群においては，気管分岐部，傍気管リンパ節群の描出をみ，経時的撮像することにより，リンパ流路を観察することができた．進行肺癌においては，局所注入部にのみ，Radio-activity をみるのみで，リンパ節描出はみとめなかった．リンパ節転移の有無の鑑別には，手術症例の摘出リンパ節の Radio-activity，オートラジオグラムによる裏付けが必要と考える．

19. リンパ節シンチグラフィーの経験

長谷川義尚　　中野　俊一
井深啓次郎　　塩村　和夫
石上　重行
（大阪成人病・アイソトープ）

悪性リンパ腫の腹腔内リンパ節への侵襲の有無を調べることは，治療法の選択の上で重要である．Zum Winkel らは ^{198}Au-コロイド (50Å 径) を用いてリンパ節シンチグラフィーを行ない，この方法が有用であると述べている．しかしながら，^{198}Au-コロイドはリンパ節に対する被爆線量が大きく，組織障害をもたらす可能性があるので，最近では ^{99m}Tc-コロイドが用いられる場合が多い．今回，私たちは，4種類の放射性コロイド，^{198}Au-コロイド (50 Å 径，ヘキスト)，^{99m}Tc-サルファコロイド (CIS)，^{99m}Tc-Sn-コロイド (電解法，ダイナボット) および ^{99m}Tc-フィチン酸 (ダイナボット) を用いてリンパ節シンチグラフィーを行ない，その成績を比較した．^{198}Au-コロイドの場合，合計 150 μCi を両側足背部に皮下注射し，6時間と24時間後にシンチグラムを撮像した．一方，^{99m}Tc-コロイドの投与量は 4 mCi で，シンチグラムは6時間後のみ撮像した．対象は悪性リンパ腫33例，悪性リンパ腫を除く腫瘍性疾患12例および非腫瘍性疾患11例で合計56例である．腹腔内リンパ節のうち，傍大動脈リンパ節の造影は，^{198}Au-コロイドで21例中19例(90%)，^{99m}Tc-サルファコロイド17例中12例 (71%)，^{99m}Tc-Sn-コロイド 13例中 3 例 (23%) において認められたが，フィチン酸では 5 例全例で造影されなかった．次に総腸骨リンパ節は ^{198}Au 100%，サルファ 71%，Sn 31%およびフィチン酸20%の頻度で造影された．外腸骨リンパ節は 4 種類の薬剤で全例造影を認めた．以上の成績から，^{198}Au-コロイド以外の放射性コロイドのうち，^{99m}Tc-サルファコロイドは，Sn-コロイドおよびフィチン酸と比べて，リンパ節シンチグラフィーにより適した薬剤であると考える．

20. タリウム 201 心筋シンチグラムによる左室壁厚計測の試み

鳥居　幸雄　　足立　晴彦
勝目　　紘　　宮永　　一
伊地知浜夫
（京都府立医大・2内）
前田　知穂　　宮崎　忠芳
岡本　邦雄
（同・同位元素検査室）
神出　　翼　　落合　正和
大友　敏行　　国重　　宏
（京都府立洛東）

タリウム 201 心筋シンチグラム (TMS) は，虚血性心疾患の診断法として常用されているが，心臓の形態，位置，および心筋壁厚を知る上でも重要な検査法である．私たちは，壁厚計測にすぐれている心エコー図 (Echo) を基に，TMS による壁厚計測を試みた．虚血性心疾患を除く各種心疾患

Presented by Medical*Online